

令和3年度 大野市在宅医療支援に関するアンケート調査結果

【目的】

市民及び多職種のための在宅医療に関する情報の発信を行うため、市内医療機関を対象に在宅医療の実施状況についてアンケート調査を実施した。

【実施期間】

令和3年6月1日～6月15日

【対象】

市内医療機関 17 件 有効回答 17 件 回答率 100%

1 標榜診療科（複数回答）

令和3年4月1日現在

診療科	件数	診療科	件数	診療科	件数	診療科	件数
内科	12	消化器科	5	耳鼻咽喉科	2	放射線科	1
外科	4	整形外科	3	眼科	2	麻酔科	1
小児科	5	リハビリ科	3	肛門科	2	その他	3
循環器科	5	リウマチ科	1	産婦人科	1		
呼吸器科	5	皮膚科	3	神経内科	1		
胃腸科	3	アレルギー科	3	泌尿器科	1		

歯科 2 禁煙外来 1

標榜診療科は、前年度と変わらず。

2 在宅医療（訪問診療、往診）の役割（複数回答） 令和3年4月1日現在

主治医として訪問診療	7
主治医として往診	6
副主治医として協力	1
専門医（耳鼻咽喉科、眼科等）として協力	3
在宅医療としての活動なし	6

3 在宅療養支援病院・診療所の届出

令和3年4月1日現在

在宅療養支援病院	2	尾崎病院 広瀬病院
在宅療養支援診療所	0	
今後検討予定	0	

在宅療養支援病院は、前年度と同じ件数である。

4 普段協力している医療機関の有無

協力している医療機関がある	7
---------------	---

5 訪問診療・往診の実施状況

(令和2年度実績)

医療機関名	月平均延人数	看取り人数	
		自宅	入所施設
阿部病院	22	3	0
広瀬病院	29.9	0	14
松田病院	20	1	14
高井医院	6	4	0
広岡クリニック	5	10	0
弘川医院	17	2	10
山川医院	31	4	10
大野市和泉診療所	29	1	0
つるおか眼科クリニック	5	0	0
鳥山医院	5	0	0
計	169.9	25	48

・看取り人数は、前年度に比べ自宅看取り数は8件、入所施設看取りは14件増。

6 歯科医（訪問歯科診療等）への紹介経験（令和2年度実績）

実施医療機関数	紹介人数
1件	2人

7 「訪問薬剤管理指導」指示経験（令和2年度実績）

実施医療機関数	紹介人数
1件	1人

8 「在宅療養栄養指導」指示経験（令和元年度実績）

実施医療機関数	紹介人数
0件	0人

9 時間外対応加算の届出状況

令和3年4月1日現在

時間外対応加算1	3件
時間外対応加算2	6件
時間外対応加算3	0件
届出はしていない	4件
届出はしていない（病院のため必要なし）	4件

*時間外対応加算とは

診療所を継続的に受診している患者からの標榜時間外の電話等による問い合わせについて
 加算1：常時対応 加算2：準夜帯対応 加算3：輪番制

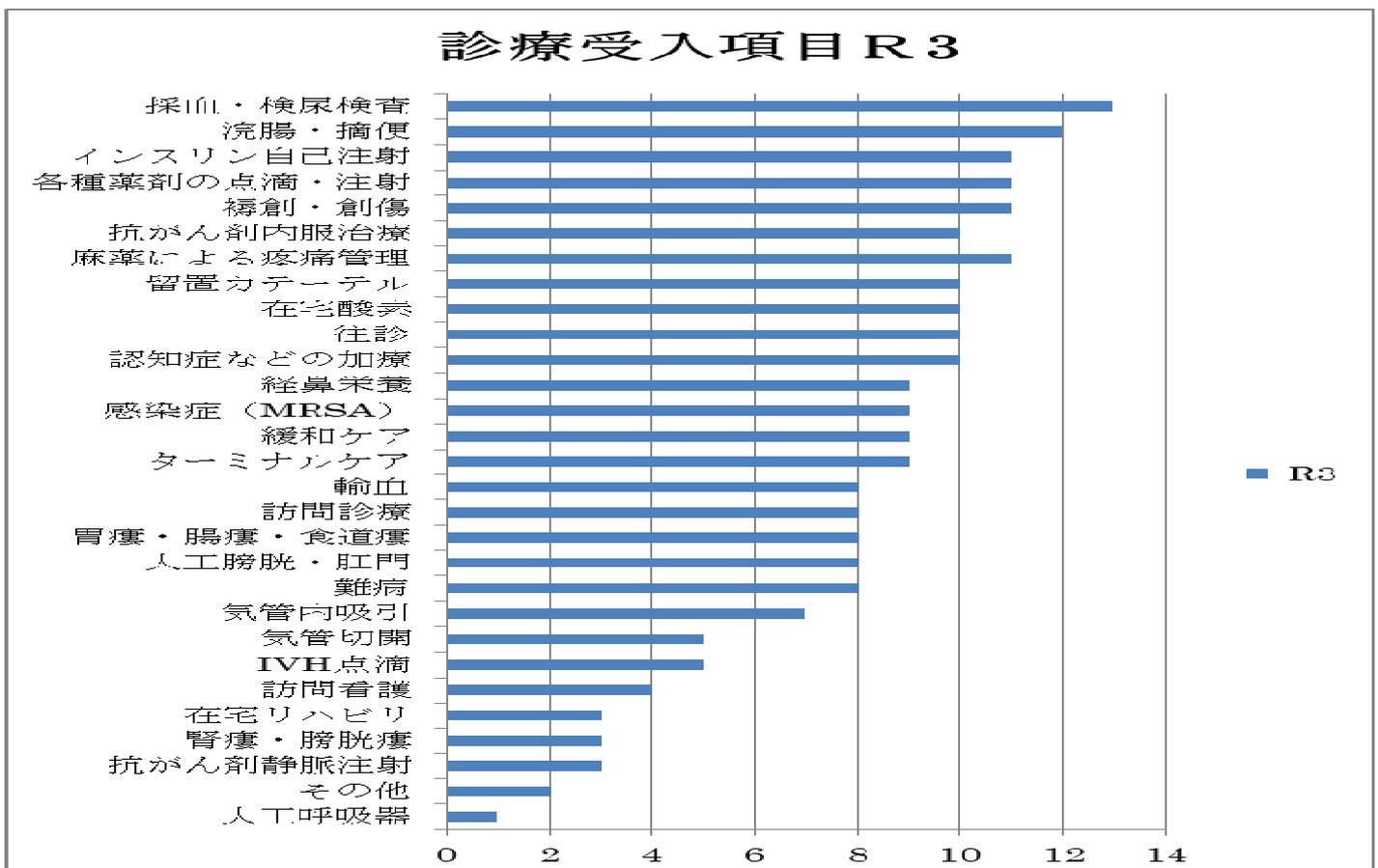
10 ケアマネなどの介護関係者から患者連絡や相談をする時間帯や窓口担当者について

令和3年4月1日現在

医療機関名	都合のいい時間・曜日	窓口担当者等
阿部病院	診療時間内であれば随時	医師：清水寛正氏
尾崎病院	診療時間内であれば随時	主任：佐々木八重子氏
広瀬病院	診療時間内であれば随時	医師：廣瀬美貴子氏 看護師：向出春香氏
松田病院	診療時間内であれば随時	看護主任：小松晴美氏
臼井眼科・歯科医院	診療時間内であれば随時	
尾崎整形外科	診療時間内であれば随時	P T：豊谷達也氏 O T：篠田倫子氏
米野耳鼻咽喉科	診療時間内であれば随時	
高井医院	診療時間内であれば随時	看護師対応
つるおか眼科クリニック	診療時間内であれば随時	
栃木産婦人科医院	診療時間内であれば随時	
鳥山医院	診療時間内であれば随時	
広岡クリニック	診療時間内であれば随時	医療事務：田中恵子氏
弘川医院	診療時間内であれば随時	看護師長：大谷光子氏
松田医院	診療時間内であれば随時	
薬袋クリニック	診療時間内であれば随時	
山川医院	診療時間内であれば随時	
大野市和泉診療所	診療時間内であれば随時	看護師：中村和美氏

11 患者の受け入れ項目の可否について（医療機関件数）

令和3年4月1日現在



・前年度から、抗がん剤内服治療が1件減

1 2 外国語に対応可能なスタッフ等と対応可能な言語について

中国語：松田病院

翻訳ソフトでほとんど対応：広岡クリニック

英語：つるおか眼科クリニック

外国語の通訳機使用：弘川医院

英語・イタリア語：薬袋クリニック

計 5 件

【まとめ】

- 1 前年度同様、本年度も回答率が 100%であり、全医療機関の情報を知ることができた。
- 2 標榜診療科は前年度同様だった。
- 3 看取り数について、自宅と入所施設の区別を行い調査した結果、自宅が 25 件、入所施設が 48 件であった。
(問 5)
- 4 ケアマネなどの介護関係者から患者連絡や相談を受け付ける窓口担当者がいると答えた医療機関は 9 件で、特に窓口は定めていなくても診療時間内で対応するという意向を示している医療機関がほとんどであった。(問 10)
- 5 患者の受け入れ項目では、抗がん剤内服治療 10 件で前年度から 1 件減した。(問 11)

【考察】

在宅医療の推進について、次のことが必要と考える。

- ① 医師と歯科医師・薬剤師・管理栄養士等の関係専門職種の積極的な連携
- ② ケアマネなどの介護関係者が医療機関と患者の連絡や相談をする窓口担当については、会議等の場でケアマネに周知して、顔の見える多職種間の連携を推進
- ③ 研修会を通じて情報の共有及び知識・技術の習得など、関係職種のスキルアップ
- ④ 市民に対して、かかりつけ医を持つことの周知